



- 子どもたち一人一人が、これからのグローバルな時代を生き抜くための「確かな学力」を身につけられるようにします。
- 教師一人一人が、子どもたちの豊かな学びを保障するための「確かな指導力」を身につけられるようにします。
- 学校・家庭・地域・教育委員会が、学力向上に向けた取組みを連携と協働のもと進められるようにします。

教師の指導力向上

1,国語指導力育成事業

1,算数・数学指導力育成事業

1,英語指導力育成事業



■各教科の指導のスキルアップを図ります。

- 専任学習指導アドバイザーによる継続的指導
 - ・国語 / 大学教授 福島大学 教授 佐藤佐敏 氏
 - ・算数・数学 / 県教育委員会指導主事
 - ・英語 / 大学教授 新潟大学 教授 松沢伸二 氏
- 教科担当教員研修会 年3回実施
- 各学校への指導訪問（国語は5回）
- 秋田県専門官による授業研究会

2,学力向上講演会

■授業改善の視点を明らかにし、更なる授業力の向上を目指します。

- 全教職員を対象に（5月27日）開催
講師 早稲田大学 河村茂雄
Q-Uテスト開発者による分析法・指導改善方法および活用

学校支援

3,学力向上学校支援事業

- 各学校の学力向上対策の支援をします。
 - 学力向上のための校内研修会への講師派遣
 - 先進校視察による教員研修
 - 本物にふれる体験学習等

4,学習サポート事業

- 中学校7校に学習サポーターを派遣し、放課後及び長期休業中における生徒への学習支援を行います。
 - 学習サポーター → 退職教員等
 - 1日2時間、年間30回

学校教育指導委員会

■各学校の学力向上対策の支援をします。

- 喜多方市学習スタンダードの作成
- 学力調査の結果分析と対応策の提示
- 指導資料の作成、学校への提供
- 授業の提供

連携・環境整備

5,学力向上推進協議会

- 各学校の学力向上担当・研修主任で構成し、学力向上の進め方や各学校の課題について話し合い各学校での今後の研修実践に役立てる。
また、学力向上に関する講義を大学教員から受け、各校の授業改善の一助とする。
年間3回開催（5・10・2月）

学力向上アシスト会議

- 学校・保護者・有識者・各種団体の代表で構成し、学力向上に向けた各種事業を検証していきます。
○年間3回開催（5・8・2月）

中学校区改善委員会

- 中学校区ごとに、幼・小・中学校及び保護者の代表で構成し、課題の共有とその解決に向けた取組みを進めます。
○家庭学習、「家読」、メディア活用等
○各種実態調査（学習意欲調査等）の実施、分析



■事業成果の検証

- 学力テスト（NRT）
- 全国学力・学習状況調査
- 福島県学力実態調査
- 学校評価（各学校）
- 学級力向上サポート事業
 - ・小5, 6 中1でQ-Uテストを実施
 - ・小学6年生にペンマンシップを配付し、英語の授業に意欲を持たせる。
 - ・中学1年生に英語検定を受検させ、日々の英語の授業や家庭学習に意欲を持たせる。
 - ・Q-U研修会

指標

学力テスト（NRTの成就値）
UAの人数
QUテスト学級生活満足群の割合

